

令和5年度 島根県学力調査結果及び分析

松江市立湖南中学校

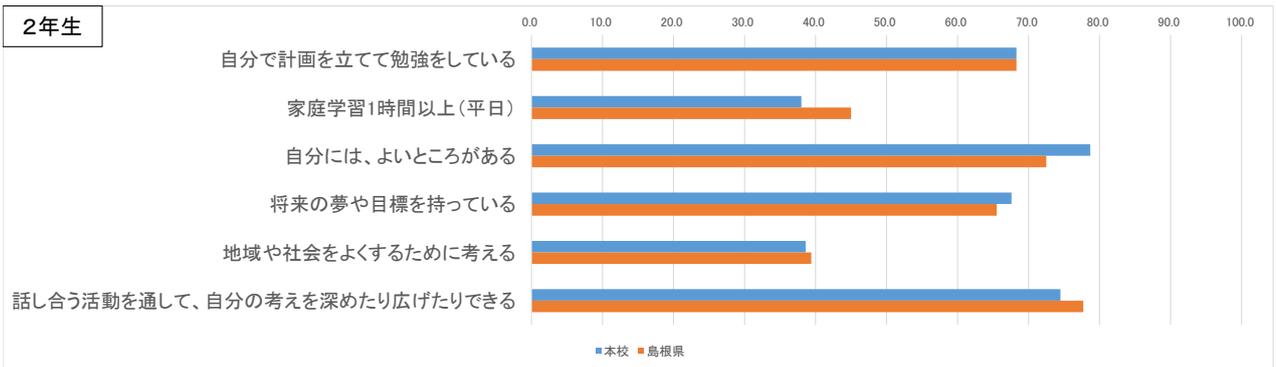
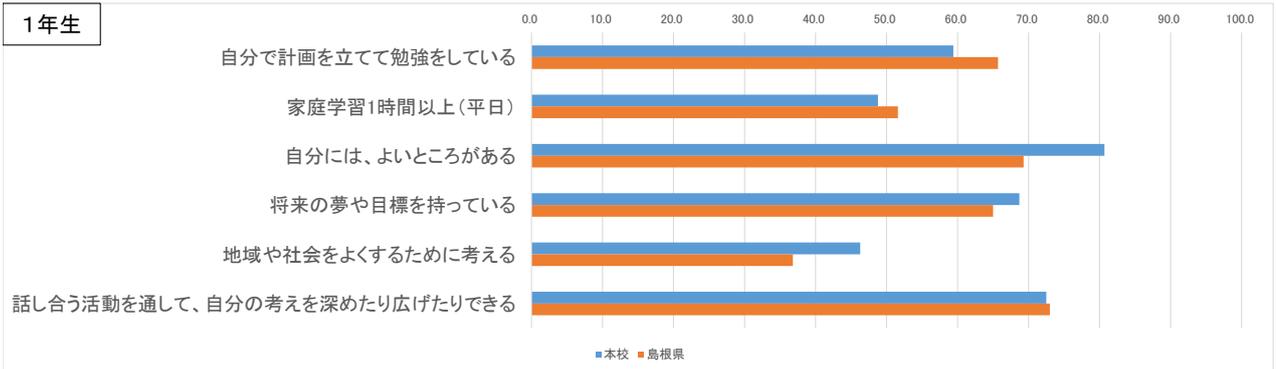
【1】「教科に関する調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	1年生	2年生
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○聞き取る力、漢字の読み書きの力は身に付いている。 ○説明的な文章を読み取る力が高い。 ●文章を書く力が弱いので、作文の機会を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体では県平均・全国平均を上回る正答率であった。領域別の正答率では、「書くこと」を除く、全ての設問で県平均を上回っていた。 ●1年時に引き続き、「書くこと」に関する項目が他の項目に比べて正答率が低かった。自分の考えを言語化し、文章にまとめることに課題が見られた。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ○1次方程式の文章問題を解くことができる。 ○平面図形の基本的な知識や技能が定着している。 ●比例式を解くことが難しい。 ●関数のグラフを、式を見て書くことができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○図形の性質をよく理解し、定着している。 ○証明問題に対して、基本的な知識技能が定着している ●1次関数の利用に対して、苦手な印象を持っている。
英語	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的かつ、意欲的に英語に取り組んでいる。 ○書く力が高い。 ●語彙や基本的な文法の定着不足がみられる。 ●リスニング力が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○単語の並べ替えの問題は、全国、県平均を上回っている。また、3文以上の英作文も、ほぼ全国平均と同じで県や、市の平均を上回っていた。また、長文や、さまざまな文の読み取りも県平均や、市の平均を上回っている。 ●リスニングの内容理解の力が弱い。

【2】「意識調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題） ※学校全体として

	1年生	2年生
意識	<ul style="list-style-type: none"> ○自分で時間を決めてテレビを見たり、睡眠不足にならないように、時間を決めて寝たりしている割合が全国平均を上回っている。また家の人から言われなくても進んで勉強している生徒が全国平均を上回っている。 ●図書館を利用したり、新聞を読んでいる割合が少ない。各教科の復習をする生徒の割合が全国平均より下回っており、家庭学習の時間を増やす必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○グループ学習などを通じて、自分の考えを深めたり、広めたりできている。 ○自分のよいところがわかっている生徒が多い。 ●家庭学習の時間を増やす取組が必要である。

【3】「意識調査に関するデータ」（教育委員会として注目している項目のうち全国調査と同様の質問項目を挙げています）



【R5学力調査受検者数】 1年生 178 名 2年生 158 名 (欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は最少の受検者数をもって表示)